

# Dol /Dang

Jeju Island —神々の島

ミーヨンの写真を初めて見たのは2016年、新潟での個展「Alone Together」でのこと。  
世界各地を旅して、モノクロームの丁寧な筆致とでも呼びたくなるような繊細な手業で写し撮られた写真は、  
旅のさなかにふと、自分が今いる場所が何処なのか分からなくなるような、  
見知らぬ風景の中でふと、神様の視点に立ってこの世の全てを見ているような...  
時のとまった一瞬に彼岸と此岸、ふたつの世界の往来が二重写しに重ね合わされているようで、  
その不思議な感触がとても強い印象を私に残した。

それから2年、アニミズムへの強い関心が、ある本をきっかけに、ミーヨンを沖縄、  
そして祖国でもある韓国の濟州島 (Jeju Island) へと向かわせた。  
近年の儒教やキリスト教の拡がりによって、今では打ち捨てられつつある濟州島の原始宗教の名残りは、  
島に点在する集落の、地元の人々の案内がなければ決してたどり着くことのできない奥深くに潜む  
堂 (Dang) や巨石 (Dol) の姿となって、ミーヨンの前に現れた。

今回はそこで写し撮られた約30点をDol/Dangのシリーズとして初めて発表する。  
現代のコロナ禍にあって、信仰の形もまた姿を変えていくのかもしれないが、  
現代を生きる私たちにも通底する思いを抱えたであろう原始の人々が、祈りを捧げ、  
大いなるものを信じようとした、その痕跡のひとつがここにある。

(企画 ディレクター：小田 鮎子)